

--	--	--	--

■ 財務政策講座

資産運用管理のポイントと留意点

日 時 講 師	2021年11月17日(水) 13:30 ~ 15:00	2021年11月26日(金) 13:30 ~ 16:00
	百瀬 義貴氏 [学校法人明泉学園 理事長] 百瀬 志麻氏 [学校法人明泉学園 常務理事]	梅本 洋一氏 [インテパシフィック・ファイナシャル(株) 代表取締役]
開催方法	<p>★ZOOMを利用したオンラインライブ参加形式</p> <p>※ 学校でも自宅でも受講可能です(各日先着95名)。</p> <p>※ 本セミナーは録画し、本会Webサイトに録画を掲載いたします(会員限定・無料)。 ご参加できなかった方は録画視聴をお申込み下さい。</p> <p>※ 非会員の方には、DVD販売(19,800円消費税込)をいたします。申込フォームよりお申し込みください。</p>	

本セミナーの概要

学費収入が伸び悩む学校法人にとって収入源の多様化は不可欠であり、資産運用はそのための有効な手段の一つです。しかし、日本の有力私大の現状を見てもその運用利回りは低く、学園財政を支える仕組みとして機能しているとはいえません。学校法人という性格上、リスクを避けることは当然ですが、運用力の強化も財政構造改革を進める上で重要な課題となります。

そこで本セミナーでは、百瀬・梅本両講師よりそれぞれのお立場より、これからの学校法人の資産運用のあり方についてご提言いただきます。

私学理事者をはじめ資産運用担当者の皆様の多数ご参加をお待ち申し上げております。

申込要領

- **申込方法** 本会ホームページ (<https://sikeiken.or.jp/>) の「セミナー申込フォーム」を開き、次の各フォームからお申込み下さい。
 - ①参加申込 ②録画視聴申込(会員限定・無料) ③DVD申込(非会員・19,800円)
 - ※申込書に記載された学園名、ご住所、役職名、ご氏名等の個人情報は、参加証・請求書・領収書等の発送のために使用します。
- **参加料**

会員:1名(1機器)	2日間無料
追加参加料(1機器)	1日2,750円(消費税込)
非会員:1名(1機器)	1日9,900円(消費税込)

なお、参加料は、開催中止やキャンセルの場合がありますので、**セミナー終了後**にお振込み下さい。
- **参加方法** 開催2日前に本会からオンラインセミナーに参加するためのURLとパスワードを送りますので、届かない場合はメール skkseminar@sikeiken.or.jp までご連絡ください。当日は30分前に配信準備を開始いたしますので、URLをクリックして待機してください。ZOOMの参加者名は、法人名(学校法人省く)に変更してください。法人名が判断できないものは、参加の許可をいたしません。
- **主 催** 公益社団法人 私学経営研究会 事務局
 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目21番33号 俵ビル3階
 TEL. 06-6321-2666 / FAX. 06-6321-3207
 E-mail: skkseminar@sikeiken.or.jp

■ 11月17日（水）13:30～15:00

小規模学校法人の生き残り戦略としての資産運用の方針転換事例

講師 百瀬 義貴 氏
百瀬 志麻 氏

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 当法人の概要 2 無借金経営を掲げていた時代 <ul style="list-style-type: none"> (1) 創立者の遺言と時代の変化 (2) 国債と定期預金中心の資産運用 3 本業（教育活動）で利益が出ない時代 <ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒数減少の中で授業料値上げは可能か (2) 創立60周年、多額の校舎改築費用の捻出 (3) 融資を受けるメリットを活かす | <ol style="list-style-type: none"> 4 金融のプロが法人職員にいない中での資産運用 <ul style="list-style-type: none"> (1) 証券会社のおススメ商品は、誰にとってのおススメか？ (2) 資産運用に踏み切る不安を和らげるには (3) 資産運用のパラダイムシフト (4) 理事会との共同責任と共通理解 (5) 新たな運用方針による資産運用スタンス |
|---|---|

■ 11月26日（金）13:30～16:00

【学校法人運用事例研究】新型コロナウイルス後の学校法人経営と『適切な資産運用』の在り方

講師 梅本 洋一 氏

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校法人経営が抱えるリスク <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営のボトルネック ・独自財源の重要性 ・資産運用の役割・目的・目標 2. 不適切な資産運用 <ul style="list-style-type: none"> ・【事例研究】不適切な資産運用とは ・核としてはいけない資産 ・不適切な資産運用に陥ってゆく共通原因 3. 適切な資産運用事例 <ul style="list-style-type: none"> ・【事例研究】適切な資産運用とは ・核とすべき資産 ・基本ポートフォリオの設定とその学術的な背景 | <ol style="list-style-type: none"> 4. 更に、適切な資産運用の「持続性」を強固にする為のノウハウ <ul style="list-style-type: none"> ・投資方針書の準備と定期的なチェック・見直し ・CIO(運用責任者)とその確保・育成 ・法人役員、CIO(運用責任者)の交代に備える ・最後に 真の経営リスクは、コロナの後に控えている
一なるべく 自己資金は温存、膨らませていけるか否かが、学校経営を分ける時代にー |
|--|--|

講師紹介

ももせ よしたか
百瀬 義貴氏 〔学校法人明泉学園 理事長〕

2015年日本工業大学院 技術経営研究科 専門職学位課程技術経営専攻修了。

2000年から学校法人明泉学園に契約職員として採用され、秘書課長、法人事務局次長を経て経営企画室長、収益事業部長となる。常務理事を経て2021年8月から学校法人明泉学園理事長となる。

2015年に明泉学園の新価値創造戦略と題し、今後の学園の発展及び持続的成長の実現と安定的な経営の方向性、将来を担う子どもたちのための教育を目指し、2017年度に短期大学における「国際こども教育コース」及び短大附属幼稚園での「英語イマージョンクラス」設置を行ってきた。また、短大校舎の老朽化に伴う建替えにおいて、本学の学生が心から楽しみ落ち着ける校舎を求め、新国立競技場の設計に携わられた設計事務所と力を合わせ建築、2019年に学生と職員のための新校舎竣工に至る。

ももせ し ま
百瀬 志麻氏 〔学校法人明泉学園 常務理事
フェリシアこども短期大学副学長
認定こども園フェリシア幼稚園園長補佐〕

2007年一橋大学社会学部卒業後、製菓会社と外資系食品メーカーのマーケティング職を経て、2013年に学校法人明泉学園に教員として入職。学長補佐を経て2014年から副学長として短大の教学改革と財政改革を担う。新価値創造戦略に基づき、競合との差別化のため、2017年には幼児教育学科を国際こども教育学科に変更し、専攻科を設置。2020年には名称を鶴川女子短期大学からフェリシアこども短期大学に変更し、校舎改築にあわせて共学化も推進。学生の学びをより楽しく深いものにするため、附属園として幼稚園に加えて保育園を2園設置し、学生と園児の自然遊びを企画している。

うめもと よういち
梅本 洋一氏 〔インディペンデント・フィデューシャリー株式会社 代表取締役〕

1990年野村證券入社。同社退社後、学校法人・公益法人などへの投資アドバイス業務、運用体制のコンサルティング業務に特化、実績を積む。2008年12月、独立・中立的な投資顧問/コンサルティング会社、インディペンデント・フィデューシャリー(株)を創業。現在に至る。クライアント法人との利益相反の無い(=銀行・証券会社・運用会社などからの手数料/リポートのキックバックなどに収益依存しない)ビジネスモデルを確立。法人顧問/コンサルティングの実績多数。(公財)公益法人協会の資産運用講座(2015~2021年)のセミナー講師。著書『新しい公益法人・一般法人の資産運用』。

講師紹介